

日本口腔医療安全学会 第1回学術講演会

—メインテーマ—

医療現場で遭遇するクライシスの対応について

2015年2月15日(日曜日) 13:00~16:00

横浜研修センター 6階会議室 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町3-31-6

講演会 13:00~14:30

「歯科医院における感染対策整備と事故が起きた場合の対策」



講師
朝波 惣一郎 先生
国際医療福祉大学附属山王病院
歯科口腔外科部長

略歴

1966年：東京歯科大学卒業
慶應義塾大学医学部口腔外科入局 同助手
1979年：慶應義塾大学医学部口腔外科 講師
1984年：慶應義塾大学医学部口腔外科 助教授
1988年：ドイツ マインツ大学顎顔面外科 留学
2007年：国際医療福祉大学三田病院 歯科・口腔外科 教授
2012年：国際医療福祉大学 客員教授

所属学会・資格

日本口腔外科学会監事(専門医・指導医)
日本顎顔面インプラント学会理事(専門医・指導医)
日本有病者歯科医療学会理事
バイオインテグレーション学会理事
日本小児口腔外科学会監事
日本口腔内科学会評議員 他

院内感染が歯科界で話題になったのは平成の始めです。当時、フロリダの歯科に通院中の輸血経験もなくHIVの感染の機会もない患者がその歯科医院でHIVが発症し、原因がHIV感染者である歯科医師から感染したことが報道されたのがきっかけです。平成3年にDavid Croser /John Chipping著のCross-infection Control in General Dental Practiceを監訳し歯科医療スタッフが日々の診療のなかでcross infection (交叉感染)の危険のあることを警鐘しました。平成5、6年には日本歯科医師会がこの問題を取りあげ各都道府県を巡回したことがあります。その後、この問題もすっかり陰をひそめておりましたが一昨年はインプラント、昨年はエアタービンの再使用などがマスコミに報道され、また一方においてはHIVをはじめウイルス感染者の増加、多剤薬剤耐性のMRSAの出現があり歯科診療所における院内感染、医療安全の問題が再度注目されています。基本的には標準予防策としては手洗い、グローブ、マスク、ゴーグルの着用を遵守することですが20年の間に感染症の種類や様態、感染対策も少しづつさまがわりしてきました。そこで今回、日本歯科医学会認定の院内感染対策ガイドラインに沿って感染症の最新事情、予防、対策、エアタービンによる細菌噴霧の問題、針刺し事故などにもふれてみたいと思います。

休憩&協力企業より製品紹介 14:30~15:00

三二講演 15:00~15:30 「歯科治療と関係する解剖知識 - 鼻・副鼻腔(上顎洞)」



講師
高橋 常男 先生
神奈川歯科大学大学院
3次元画像解剖学講座教授

我が国における高齢者の死因第一位は肺炎である。そしてその主因には、誤嚥という嚥下機能の減弱という要因が内在している。本講演では、呼吸器系の構造要素である鼻腔・副鼻腔の三次元的理解を目的に、鼻・副鼻腔の発生、上顎洞の存在意義、特に加齢による上顎洞の構造変化について、論文考察も含めて解説したい。また、一見関わりないように見える長寿や誤嚥との関係についても私見を述べる。

定員：60名

参加費事前登録(2月10日まで)

4000円：歯科医・歯科衛生士・歯科技工士他、その他国家試験資格者

3000円：医療スタッフ・医療従事者

2000円：学生

主催：日本口腔医療安全学会



Japan Society of Oral Medical Safety
学会ホームページ <http://jsoms.jp>

参加費振込先

スルガ銀行 富士支店(普) 3455948
日本口腔医療安全学会

お問い合わせ

日本口腔医療安全学会事務局
石原歯科医院内 石原正雄
FAX: 03-5837-4628

メールアドレス jsoms-office@jsoms.jp

2015年 日本口腔医療安全学会 第1回学術講演会参加申込書

下記に必要事項をご記入の上、FAX: 03-5837-4628 までご送信ください。メール (jsoms-office@jsoms.jp) でのお申込も受け付けております。

ふりがな 氏名	連絡先	TEL	FAX
		e-mail	
住所 (医院名)	〒	<input type="checkbox"/> 歯科医・歯科衛生士・歯科技工士、その他国家試験資格者 <input type="checkbox"/> 医療スタッフ・医療従事者 <input type="checkbox"/> 学生	